

# 保育課程

## 常盤こころ保育園

保育理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命を大切にする</li> <li>・子どもの目線に立ち、共感しながら一人ひとりに応じた保育にあたる</li> <li>・保護者や地域と連携し、子どもたちの成長を育み喜びを共有していく</li> </ul>			開所時間：午前7時～午後8時（土）午前7時～午後6時 基本保育：午前9時～午後4時30分 朝保育：午前7時～9時 延長：午後6時～8時（土）延長なし
保育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの個性を尊重し、発達過程に応じた働きかけをしていく</li> <li>・自発的な遊びを通して健康な心身の成長を育む</li> <li>・家庭との連携を大切に、保護者が抱える困難を受け止め、ぬくもりを感じて安らぐことのできる場としていく</li> </ul>			行事 ・誕生会 ・こいのぼり集会 ・保護者懇談会 ・身体測定 ・プール開き ・七夕まつり ・運動会 ・いもほり ・遠足 ・十五夜集会 ・避難訓練 ・保育参加(1歳以上児) ・個人面談 ・一日保育士体験 ・健康診断 ・歯科健診 ・お楽しみ会 ・豆まき ・こころすくすく会(生活発表会) ・おわかれ遠足 ・卒園式
社会的責任	人権尊重	説明責任	情報保護	苦情処理・解決
○児童福祉施設として子育て家庭や地域に対し、保育園の役割を確実に果たす	○保育者等は、保育の営みが子どもの人権を守るために法的・制度的に裏付けられている事を認識し、理解する	○保護者や地域社会と連携や交流を図り、風通しのよい運営をする事で、一方的な「説明」でなく分かりやすく応答的な「説明」をする	個人情報に関する法律を遵守し、法人として全施設に適用する「個人情報保護規定」を設け取り組んでいる。	○苦情解決責任者である施設長のもとに苦情解決担当者を決め書面における体制を整備する。また第三者委員を設置する。職員で共通理解を図る
保育目標	丈夫なからだと豊かな心			
0歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携をとりながら、一人ひとりの生理的欲求を満ちし情緒の安定を図り、生活リズムをつくる</li> <li>・子どもの発声、喃語を受けとめ、やさしく語りかけ、指さしや言葉の発達へとつなげていく</li> </ul>			
1歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満ちし自分でしようとする気持ちを育む</li> <li>・安全で活動しやすい環境の中で、自由な活動を十分行い体を動かすことを楽しむ</li> <li>・保育者の話しかけや興味のある絵本と一緒に見ながら、言葉のやりとりを楽しむ</li> </ul>			
2歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心できる保育者との関係の下で、自分の思いを主張し、思い通りにならないことも味わいながら自分の気持ちをコントロールできるようになる</li> <li>・生活や遊びの中で自分の経験したことや思っていることを話したり言葉で伝える楽しさを味わう</li> <li>・感動や喜びを共感し合うなかで、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを体験する</li> </ul>			
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な生活の流れや習慣がわかり、身のまわりのことを自分でしようとする</li> <li>・保護者や友達と遊ぶ中で、自分の思いや要求を言葉や行動で表現する</li> <li>・戸外で十分に体を動かして遊ぶ</li> </ul>			
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に必要な基本的習慣が身につく、自分でできることに喜びを感じる</li> <li>・自然や身近な事象との関わりの中で、豊かな感性を育む</li> <li>・保育者や友達と一緒に遊ぶことによって、仲間意識を持ち、共に過ごすことの喜びを味わう</li> </ul>			
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や遊びを通して、基本的な生活習慣や態度を身につける</li> <li>・自分の思いを言葉で表現したり、友達の異なる思いや考えを認めたりして、社会生活に必要な基本的な力を育む</li> <li>・共通の目標に向かって力をあわせ、最後までやり遂げた時の達成感を味わう</li> </ul>			

年齢		保 育 の 内 容		
		0歳児	1歳児	2歳児
養 護	生命の保持	一人ひとりの生活リズムが整うようにするとともに保健的で安全な生活を送るよう配慮する	生活リズムの形成や生理的欲求の充実をはかる	自我の育ちを認め健康状態を把握する
	情緒の安定	スキンシップをとりながら情緒的な絆を築く	応答的な働きかけにより情緒的な絆を深める	子どもの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いていく
教	健康	心身ともに安定感をもって生活する	歩行の確立など運動機能の発達を援助する	排泄の自立のための身体的機能や基本的運動機能の発達とバランスを促す
	人間関係	人との深い関わりを養う	人との信頼関係を築き自立心を育成する	友達との共感や関係構築の育成
育	環境	安心できる人的及び物的環境の下で感覚の働きを豊かにする	生活の中で様々な物に触れ興味や関心を持つ	身近な環境に親しみ自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ
	言葉	語りかけられることにより声を出したり応えようとする	話かけややり取りのなかで声や言葉で気持ちを表そうとする	語彙の増加を促し意思や欲求を伝えるとともに会話を楽しむ
	表現	絆を大事にし歌や手遊び・触れ合い遊びを楽しむ	いろいろな素材に興味を持ちイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ	ごっこ遊び等をとおしてイメージを膨らませ友だちと工夫して遊ぶ
食育	食を営む力の基礎	適切な援助により食に対する意欲を持つ	安定した人間関係の中で食事を楽しむ	いろいろな種類の食物を味わい食事を楽しむ
年齢		3歳児	4歳児	5歳児
養 護	生命の保持	基本的な生活習慣が徐々に身につくよう援助する	一人ひとりの生活リズムに合わせ適度な休息と午睡がとれるようにし静と動のバランスに配慮していく	健康や安全に関心を持ち生活に必要な基本的な生活習慣や態度を身につける
	情緒の安定	一人ひとりが主体的に活動し自発性や探索意欲が高められるよう見守る	感情や考えを受け止め成長の過程を見守り自己肯定感を育んでいく	子どもの主体的な活動を促す保育環境を構成し子ども自らが環境に関わり体得していく
教	健康	身の回りを清潔にし生活に必要な活動を自分でしようとする	自分の健康に関心を持ち異常を感じた時は保育士に伝える	危険な場所、遊び方、行動を知り気をつけて活動する
	人間関係	友達と簡単なルールのある遊びをする中でルールを守れる	自分の思ったことを相手に伝え相手の思っていることに気づく	目的を持って仲間と一緒に活動する
育	環境	身近な環境に自分から関わり発見を楽しんだり考えたりし生活に取り入れる	身の回りの数や量に関心を持って遊ぶ	身近な環境に親しみ自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ
	言葉	保育士等と一緒にごっこ遊びなどをする中で言葉のやり取りを楽しむ	人の話を注意して聞き相手にわかるように話す	絵本や物語などに親しみ興味を持って聞き関心を持ったり感動する
	表現	感じたこと考えたことを音や動きなどに表現したり自由に描いたり作ったりする	音楽に親しみ歌ったり簡単なリズム楽器を使ったりする楽しさを味わう	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり演じて遊ぶ楽しさを味わう
食育	食を営む力の基礎	楽しく食事しながらいろいろな食材に興味を持つ	食事のマナーや食具の使い方を覚え、友達と楽しく食べる	身体と食べ物の関係に興味を持ち、食事や健康の大切さを知る
健康支援	・健康状態、発育発達状態の定期的、継続的な把握 ・年3回の嘱託医による内科健診 ・歯科健診 ・異常が認められたときの適切な対応 ・年間保健指導計画		研修計画	・保育指針に対応した園内研修 ・救急救命講習 ・離乳食研修 ・危機管理研修 ・園外研修参加(社会福祉協議会 保育協会による 乳児保育研修 ・運動遊び ・わらべ歌等)
環境・衛生管理	・施設内外の設備、用具等の衛生管理と安全管理及び自主点検 ・子ども及び職員の清潔保持		特色ある保育	・音楽や描画等に多く触れながら感性を育む保育 ・こまやかなアレルギー食の対応
安全対策 事故防止	・毎月避難訓練(火災、地震、不審者対応)を実施 ・年2回の消防点検 ・消防署立合いの避難訓練、通報訓練、消火訓練の実施		自己評価	・保育全体の反省による保育課程の反映 ・自己チェックリストの実施 ・危機管理マニュアルの習得
保護者 地域等への支援	・保育士・看護師・栄養士が子どもの発達をふまえて、家庭と連携をとりながら継続的に関わっていく。 ・講演会(救命講習、食育他) ・地域子育て支援センター ・育児相談			